



待ちに待った祭りだ！！

祭り好きの会員の皆さん！ いよいよですね、体調の方は万全ですか？ これからは夜遊びやパチンコ？は控えめに、体力を蓄え、身を清めて祭礼に望みましょう！ 6日(土)は町内渡御、7日(日)は例年どおり両社祭の連合渡御に参加します。7日の午後の部では、初めての試みとして、山車、子ども神輿、大人神輿が、学童前から東京ガスまで合同で渡御を行います。隊列が大変長くなりますので、事故のないように、皆様のご協力をお願い致します。なお、両社祭においては、鳳和會の半纏及び、帯またはさらしを着用していなければ、神輿を担ぐことは出来ません。必ず各自用意して下さい。

鳳和會の献灯提灯完成！！

「鳳和會便り」創刊号で募集した「名入提灯」が、今年は會の分も含めて 59 灯出来上がり、栄通りから直会(なおらい)会場前までの通りに飾りました。先日、試験的に点灯しましたが、なかなか素晴らしい出来ですので、ぜひご覧ください。しかし直会の会場を飾るにはまだまだ数が足りません。個人の名前入れですので、今年の祭礼時に見て頂いて、自分の提灯を作りたいと思った方は、来年もこの「鳳和會便り」にてご案内しますので、1灯でも2灯でも結構です、ぜひお申し込み下さい。(ただし、原則として会員のみとなります)

豆知識

「小山両社祭 神輿連合渡御」 「小山八幡神社」と「三谷八幡神社」の両神社共同の祭礼が「小山両社祭」と呼ばれ、そのハイライトとして、2日目の夜に両神社の氏子である周辺の6町会1団体が繰り出す神輿とお囃子、手古舞等が、武蔵小山から西小山までのコースを連合で渡御する。この連合渡御は品川百景にもなっている。以前は「小山神輿連合」と呼ばれ、神輿を新調したいいくつかの町がこのコースを連合で渡御するようになったのが始まりである。もともとこの地域では戦後間もない頃から祭礼で神輿を渡御することが行われていた。当時はいわゆる「暴れ神輿」で、四方から神輿の中心を向いて担ぎ、往来を蛇行して渡御していたそうで、祭りのたびに沿道の家屋が壊され、町会長はいつも謝って回らなければならなかった。そこでまもなく大人の神輿は禁止になり、神社の倉庫などに封印されたという。幼い頃にかつての大人神輿を見たことのある世代が、やがてその復活を考えるようになるのが、70年代も後半になってからである。まず、75年に小山5丁目で大人の神輿が新調される。それに刺激され、小山4丁目でも80年に新しい大人の神輿が完成する。ちょうどこの年が三谷八幡神社の三百年祭で、二つの神輿が連合して幹線道路の片側を止めて渡御したのが、連合渡御の始まりである。さらに翌年には、武蔵小山商店街パルムの青年部が中心になって、大人の神輿が新調される。やがて、この三基連合が武蔵小山から西小山にかけて渡御したのが、82年のことであった。このことが西小山(小山6丁目)の祭り好きを大いに刺激することになる。翌年には小山6丁目の大人神輿も完成し、「小山神輿連合」は徐々にその体裁を整えていく。85年に荏原5丁目が、86年には荏原7丁目が、そして90年に荏原4丁目が加わり、その後、木遣り、手古舞、弓張り及び両社の宮司も加わって現在の「両社祭」となっている。担ぎ方は「江戸前」で、地元の古くからの担ぎ方ではなく、浅草などの祭礼にみられる「江戸」の伝統を取り入れている。(副会長 市川)

高橋則一です。今回は、来たるお祭りに向けて、会員の方々や担ぎ手の皆さんに差し上げるお守り札の製作の様子をお伝えします。6月21日(土) 古宮衛さん、佐藤利明さん両氏の手により、材料となる一位(いちい)の木(いちい科の常緑高木。実は食用、葉は薬用、材は器具、鉛筆用。「角川書店 国語辞典」より)を、電動のこぎりでお守りの大きさに切り出してゆきます。危険な作業なので、ここはプロにお任せし、自分は写真撮影のみで何のお手伝いもしませんでした。この日、約1000枚もの札を切り出し、紐を通す穴あけ、磨き、選別をして次の工程に入ります。



7月20日(日) この日は20名ほどの役員、会員で手分けをして仕上げの作業に入りました。一枚一枚紙やすりで面取りをするのですが、ここで几帳面な性格か、大雑把な性格か個々の個性が出るところ、角のところだけ簡単に削る人もいれば、まるで小判のように丸く削る人もいて、改めて役員の方々の一端を見たようで面白かったです。次にいよいよ印刷をして仕上げに入ります。鳳和會、三谷八幡神社、印鑑の3種類の版を刷っては乾かす作業を繰り返します、紐を通して完成したのは、約250枚ほどでしたが、残りは来年の楽しみに取っておこう、ということで今回のお守り札づくりは終了しました。



鳳和會のお守り札は、材質がすばらしく、使うほどに汗が染み込んで重みのある良い色になっていきます。祭礼当日、ご希望の方に差し上げますが、数に限りがありますので1人1枚とさせていただきます。また、まだ会員でない方は、ぜひ入会の申し込みをしていただけたらうれしく思います。(年会費1,000円)



< 神輿の担ぎ手の皆様にお願ひ >

集合時間 : 6日(土) 16:30分 7日(日) 14:00分

予定時間の出御のため、出来る限り、上記時間までに神酒所前に集まって下さい。
よろしくお願ひ致します。

通信費等節約のため、PCをお持ちの方はメールアドレスを事務局までお知らせ下さい

事務局

電話 070-5020-4932
(13:00~21:00)

FAX 03 3783 8027